

平成 28 年 9 月 9 日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（9 月期）

【出席者】（敬称略）

濱田、岡部、沖津、片桐、木村、葉木、森、若笠、事務局仁藤（天寺の代理）

澤野委員長、森村会長補佐（推進委員会からの出席）

1. 濱田代表理事 挨拶

北朝鮮が 5 回目の核実験をやって、国内でも地震波として感知された。座間でもテロと地震とを「災害」としてとらえて対策への意識を啓発する活動がある。

後で報告をするが、先日に熊本地震の被災地へ赴むいて、こちら（関東圏）と熊本とでは地震に対する意識に明確な違いがあることを実感した。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会議事」参照。

（ア）熊本地震募金活動中間報告

（イ）雑誌『ジュニアアエラ』からのシェイクアウト絡みの取材要請に座間ネットが協力。

→ あわせて非常用炊出袋についても掲載。需要が増えることも予想されるので第四次発注をかける。

（ウ）社団 HP のリニューアルに向けて作業中。一般の方も見やすいように。

（エ）神奈川ボラジェット報告。

4. 各地域の活動報告

<千葉県>

▶ 県ネット・船橋ネット

・九都県市合同防災訓練報告（千葉市と茂原市）。

詳細は後日に千葉県ネット会議があるのでからの報告があるので、それ以降に。

・外国人 30 人とそのサポーター 20 名、その他参加者を含めた計 80 名での宿泊訓練を実施。

→ 船橋には非登録の人を含めると 20 万人もの外国人がいると推測されている。

・茂原市の訓練では、ペット同伴や障がい者を受け入れた避難所訓練を支援。

→ 参加した住民側には「障がい者は福祉避難所に行くはず。今回一緒にいるのは訓練の特別設定」という意識があり、まずその誤解を解く必要があった。

▶ 流山野田ネット **資料有**

・今年度も研修と「もの知りしょうゆ館」の見学を含めた企画を 11 月 6 日に予定。

これから募集を開始。

▶ 市浦ネット 資料有

- ・ 7月定例会を開催。
- ・ 市川市の総合防災訓練に参加。SLとして声はかからなかったのが一般として。
- ・ マンション関連の専門士業が弁護士向けに監修した、マンション災害対策について書かれた書籍紹介。その中ではシェイクアウトについても紹介している。

<埼玉県> 資料有

- ・ 日本工業大学で行われた救命講習を支援（8月）。
- ・ 九都県市合同防災訓練。ふじみの市で行われた訓練を見学。
- ・ 8月の定例会で、かながわネットの規約を参考に埼玉ネットの規約を作成。
→ 他の内容としては、傾聴ボランティアの活動をしている人からの報告や無線機の活用に向けた機種を紹介など。

<神奈川>

▶ 横浜 資料有

- ・ 7月22日に定例会を開催。熊本県へ支援活動に入ったメンバーの報告や8月にあるイベントの打ち合わせなど。
- ・ 8月10日に瀬戸ヶ谷小学校(保土ヶ谷区)での子ども達の防災イベントに参加。
- ・ 8月19日に都筑区区民ホールを会場に「つづき防災フェア」を同区の災害ボランティアと共同開催。区行政・区社協も参加し、大勢の市民・子どもの来場があった。
→ 区長や区社協幹部の他に市議員も来場し、後日その議員のブログに活動の様子が掲載された。
- ・ 9月の定例会では実技訓練も予定。
- ・ 茅ヶ崎訓練は横浜ネット中心となり、各部会等が協力。

▶ 湘南ネット 資料有

- ・ 11月11日に東北大学の今村文彦教授を招いての講演会を開催予定。
→ 神奈川ネットはこの周知に協力をする。
また、講演会の参加費で賄えなかった費用については社団が支援する。

▶ 座間市

- ・ 8月27日に座間市総合防災訓練を実施。訓練用の号外新聞も配布された。
- ・ 今まで防災支援をしてきた座間養護学校が、今回は学校側（教員）が主役的に訓練実施し、その様子を評価した。
- ・ 『ジュニアアエラ』の取材があった防災訓練では、SL10名を含む80名が参加。
- ・ 学生対象の東北バスツアーを実施。
→ ツアーで巡った地域が今回台風によって被災してしまった。
- ・ 清川村のボランティア講座を受託中。
- ・ 今年度のシェイクアウト・キックオフ講演会では、国崎先生が講演をする。

- 神奈川県 資料有
 - ・DIG 事業経過報告。
 - ・ニューズレター99号にも掲載した来年1月のDIG事業について、指導側に多くの人員が必要。協力を広く求める。
 - ・8月28日に開成町からの依頼で市民対象の防災講座を支援。

- 西湘ネット
 - ・9月に富士山噴火対策をテーマとした講演会を開催する。
 - ・生命の星博物館館長の講演会を開催予定。

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会…8/12 築地見学会を実施。
- ▶ 情報部会…7/13 海洋研究開発機構見学会を実施。
- ▶ 応急部会…7/21 池袋防災館体験会を実施。
 - 瓦礫の下敷きになった人を救出する体験もできるようになっていた。

6. 神奈川ボラジェット報告

濱田 SL・木村 SL が撮影してきた活動写真のスライドショー

【次回の開催日】 10月7日（金）13時30分～
10月7日 10:00～理事会

2016年7-8月の事業報告と今後の予定

(9月8日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

- 委員長メモ
- ・災害の教訓は正しく伝承されているのか (和歌山を訪ねて)
津波 和歌山県広川町 (稲むらの火の地)
河川 那智勝浦 (土石流)、新宮市 (浸水)
 - ・原点を忘れた総合防災訓練 防災フェスタ
 - ・災害情報の意味の間違った理解、「避難準備情報」

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・テロ事件 7/14 フランス・ニーストラックテロ 84人犠牲
7/15 バングラデシュ・ダッカ襲撃テロ 20人犠牲(内日本人7人)
- ・殺傷事件 7/26 相模原市障害者福祉施設 19人犠牲
- ・都知事 7/31 小池百合子当選
- ・リオ五輪 8/5-8/21 →そして2020年に向けて
- ・原発再稼働 8/12 伊方原発再稼働 直後の8/15に直下で地震
- ・新潟知事選 8/30 泉田知事が4選不出馬表明 柏崎再稼働

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、首都圏は震度4以上)

日時	震央	M	深さ	最大	場所
7/17 13:24	茨城県南部	5.0	42 km	4	笠間市下郷他
7/19 12:57	千葉県北東部	5.2	33 km	4	一宮町一宮他
7/20 07:25	茨城県南部	5.0	42 km	4	水戸市内原町
7/27 23:48	茨城県北部	5.4	57 km	5弱	日立市、常陸太田市
8/19 21:07	茨城県沖	5.4	48 km	4	水戸市、笠間市、東海村
8/1 17:09	緊急地震速報(予報)キャンセル				
≫8/15 13:36	伊予灘	4.3	71 km	2	伊方町

イ 風水害

- ・8/23 北海道 1週間に3度の台風(観測史上初)で被害
- ・8/30 台風10号 東北地方太平洋側上陸(観測史上初)で被害
岩手県死者16人、不明7人 北海道死者2人 不明2人 9/8時点
岩泉町グループホームで9人

海外 ア 地震(USGC発表、M7.5以上又は報道等で犠牲者多数)

日時	震央	M	深さ	被害
7/29	太平洋マリアナ諸島	7.7	207.6 km、	
8/24	伊ノルチャ	6.2	10 km	死者294人 8/31時点
※8/24	ミャンマー中部チャウ	6.8	84.1 km	バガン仏教遺跡に被害

イ 自然災害

- ・7/8 洪水 中国長江中・下流域大雨 (160以上) 7/19発表

ア 全体的な到達点

- ・ S L養成数 講座 9,301 人 公認講座 2,043 人* 計 11,344 人 9/5 現在

イ 本部主催の S L 養成事業

- ・ [予定] 船橋市災害救援ボランティア講座 9/30, 10/1-2
- ・ [予定] 上級講座 18 期 10/22-29-30 気象災害
- ・ [予定] 横浜講座 11/25-26
- ・ [報告] 一橋大学講座 8/6-7-8 東京大学講座 8/14-20-21
- ・ [予定] 首都圏 99 期 11/26-27,12/11 →来春に 100 回

ウ 大学等受託の S L 養成事業

中央大学 8 月

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

オ 講座改革

B、防災／減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 本部受託の事業

ウ 他主催の事業への協力

- ・ 防災パーク 8/27-28 NHK 放送センター
- ・ 防災国民推進大会 8/27-28 東京大学本郷キャンパス

エ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク／災害ボランティア活動報告

- ・ [報告] 定期委員会 7/19
- ・ [報告] 神奈川ボラジェト 指定管理者管理施設支援

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業 (防災訓練事業)

ア 到達点 2016 年 累計約 412 万人、世界で 1930 万人

イ 重要 気象庁との連携 11 月 4 日 緊急地震速報シェイクアウト訓練

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

イ 防災教育普及事業

- ・ [予定] 防災教育実務者研修 10/14-15

防災教育交流フォーラム 15-16

The 防災教育 スタンダード

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・ [各地] 学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

- ・ [報告] 熊本県での罹災発行業務支援

全壊 5,990 半壊 20,219 一部損壊 85,535 5/30 現在

8,549 27,728 131,153 8/1 現在

- ・ [予定] 被災者生活再建支援セミナー 11/16-17 東大地震研

D、防災研究事業

- ・[報告]7/15 防災科研 熊本地震報告会
- ・[報告]7/27 国際危機管理学会日本支部学習会

3、事務局等

A、広報

- ・ニュースレター99号 8/26頃発送 →次号は百号

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

1. 理事会報告事項

1.1. 平成 28 年熊本地震 応援缶バッチの報告

添付「平成 28 年熊本地震義援金缶バッチ状況」

第 1 回熊本義援金送金額：265,749 円（振込済み）

現在の合計金額：522,896 円（9/9 受領まで。第 1 回送金済金額も含む）

1.2. 非常用炊出袋の在庫と第 4 次発注の件

事務局の在庫：1 箱+36 パック

座間の在庫：3 箱

秋～年度末にかけての地域でのイベントで需要があると見込み、第 4 次発注（1000 パック／12.5 箱分）をすることに決定した。

1.3. SL ネットワークホームページリニューアルについて

▶ HP のリニューアルについて他の業者やシステムに乗り換える案も検討したが、更新仕様に慣れている点、年間コストも許容範囲である点、などの理由から JIMDO 無料版→Pro への移行でリニューアルを行うことにした。（年額 11,340 円）

現状のページ構成は会員向けの内容となっているため、SL とは何か、どんな組織なのか、訓練や研修を依頼できるのか、どんなプログラムを持っているのか、など広報面を補うようなページ構成とした。

1.4. かながわボラジェットの活動報告

7/19～20 第 1 便で濱田代表理事が参加

7/22～26 葉木洋一 SL と佐藤元男 SL が参加

7/26～28 小林孝行 SL が参加

7/24～28 天寺が派遣。

8/1～3 木村孝 SL が参加

計 6 人が社団から参加派遣された。

活動内容は、益城町総合体育館の避難所支援と特別老人ホームいこいの里での配膳支援

2. 次回運営委員会

10 月 日(金) 13:30～